



令和6年度

給食だより

高岡市立こまどり支援学校

富山県立高志支援学校高等部こまどり分教室

暦の上では春を迎えますが、まだまだ寒い日が続きます。寒さや風邪に負けないように、毎日しっかり食べてこの冬を乗り切りましょう。

今月の献立

節分献立 3日(月)

2月2日は節分です。節分の日には、豆をまいて鬼を追い払い、家族の健康や幸福を願います。また、柊の枝にいわしの頭を刺して玄関に飾る風習もあります。これは柊のトゲで鬼を刺し、いわしのおいで鬼を近づけないようにする魔除けの意味があります。



いく
高岡食19丼献立 17日(月)

今月の高岡食19丼は、「高岡冬野菜のマーボー丼」です。冬野菜は寒い雪の中で育つため、うまみや栄養がぎゅっとつまっています。また、このマーボー丼には、生姜やにんにくが入っています。生姜には体を温めるはたらきがあり、にんにくには、ウイルスや細菌から体を守るはたらきがあります。栄養たっぷりの丼を食べて、風邪を予防しましょう。

日本遺産の日 13日(木)

2月13日は「日本遺産の日」です。高岡市は、1609年に加賀前田家二代当主前田利長によって高岡城が築かれた後、町民のまちとして発展してきました。華やかな祭礼や鋳物・漆器等のものづくりの技等、町民文化が受け継がれ、現在も息づいています。この高岡の歴史ストーリーが「加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡一人、技、心一」として日本遺産に認定されています。

2月13日

日本遺産の日

TAKAOKA
ライバルはご先祖様。文化創造都市高岡

日本遺産認定ストーリー

「加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡一人、技、心一」

給食から高岡市が誇る貴重な歴史について学ぼう！



鶏のから揚げ 鳳鳴風

から揚げの上にかかったマーマレードソースの黄金色で金屋町にある鳳鳴橋の鳳凰に見立てました。これは高岡の地名の由来が、中国最古の詩集「詩経」の一節「鳳凰鳴けり彼の高き岡に」から名付けられたことによるものです。

高岡野菜の精進あえ

高岡の町を開いた前田利長を追悼するお寺、国宝「瑞龍寺」の僧侶たちの食事である精進料理をイメージしたもので、高岡市で採れた小松菜や人参を湯葉と一緒に和えました。精進料理とは仏教の教えに基づく、肉類や魚類を使わない植物性の食べ物のみで作る食事のことです。湯葉は畑の肉と言われている大豆から作られており、たんぱく質が多く、精進料理には欠かせないものでした。



古城公園の四季彩煮

古城公園は加賀前田家二代当主、前田利長が築いた高岡城の城跡で、日本100名城の一つとなっています。厚揚げで築城当初から残る石垣を、枝豆や花麩で桜や緑豊かな古城公園の四季をイメージしました。